

建土道計第 1421 号

平成20年10月20日

国土交通省道路局長 様

さいたま市長 相川 宗



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

平成20年9月19日付け国道企第37号で依頼のありました、標記の件につきまして、別添のとおり回答いたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

道路は、市民の日常生活や都市の骨格を形成し、円滑な都市活動を支える最も基礎的な基盤施設であるとともに、災害時の緊急輸送道路や延焼遮断帯など、多様な役割を果たすものである。

昨今の道路整備を取り巻く情勢は大変厳しい状況であり、先の暫定税率関連法案と道路財源特例法案が、再議決により成立される一方で、「道路特定財源等に関する基本方針」が閣議決定され、道路整備に大きな不透明感と地方の不安の払拭には至っていない。

また、全国的には、主要な幹線道路等の整備や開かずの踏切対策などの必要な道路整備が、未だに多く残されており、その整備のためにも、安定的な予算の確保が必要不可欠である。

このような状況を踏まえ、今後の道路整備については、以下の事項を強く要望する。

- ① 道路交通の円滑化を図るための体系的な道路網の整備・促進すること。
- ② 都市の渋滞解消や環境負荷の軽減に効果が大きい環状道路網の整備、ボトルネック交差点の改良、踏切対策等を推進し、安全・安心なみちづくりに積極的に取り組むこと。
- ③ 道路特定財源制度が廃止され、平成21年度から一般財源化されたとしても、安定的な財源を確保すること。
- ④ 首都圏の高速道路網の有効活用に資する、一体的で利用しやすい料金体系の実現を図ること。

○現状

- ・ 高速道路ネットワークをはじめとする広域幹線道路の整備が不十分であることから慢性的な交通渋滞が各所で発生している。
- ・ 今後も人口増加、都市活動の拡大が見込まれることから、交通需要の増加による交通混雑の激化が予想される。
- ・ 市民の日常生活に密着した生活道路は、防災性の向上や快適な住環境の形成などの観点から、重要性が増している。
- ・ 都市活動や市民の交流を支える交通ネットワークという観点から、鉄道、バスなどの公共交通の充実、改善が求められている。
- ・ 高度成長期に整備された道路施設の多くが、更新時期を向かえ、維持修繕事業の必要性が高まっている。

○課題

- ・ 整備効果の早期発現が期待できる多車線道路の整備を中心に、重点的かつ計画的に整備を推進する必要がある。
- ・ だれもが安全で快適に利用できるゆとりある歩行空間の確保が重要である。
- ・ 交通量の増加に伴う環境問題やエネルギー問題、交通事故などの社会的な問題に対応する必要がある。
- ・ 道路整備には、多くの費用と時間が必要である。
- ・ 必要な財源確保と安定した配分が必要不可欠である。

本市は、首都東京に隣接し新幹線5路線などに代表される交通の要衝として、また、さいたま新都心を中心とした高次都市機能の集積、さらには、見沼田圃の広大な緑など、多彩な都市活動が展開される東日本の交流拠点都市としての高いポテンシャルを生かし、世界の人々が集う、「開かれた国際都市」の実現を目指し、まちづくりに取り組んでいる。

都市基盤の整備は、次代を見据えた、安全で安心して利用できる質の高い道路基盤をつくることが、市民の日常生活や都市活動を支える最も基礎的な基盤であり、又、地域の活性化を図るうえでも道路網の体系的な整備を、より効率的かつ効果的に進めていくことが喫緊の課題となっている。

しかしながら、本市域においては、高速道路ネットワークをはじめとする広域幹線道路の整備が不十分であることから、慢性的な交通渋滞が発生しており、都市の活力を低下させ、多額の経済損失や環境負荷の増大を引き起こしている状況にある。

こうした課題を解決するためには、首都圏の広域的な連携を強化する、圏央道までの首都高速道路・高速埼玉中央道路の延伸による、高速ネットワークの整備促進を図り、又、一体となって効果を発揮する幹線道路の整備が必要不可欠である。

また、市民の日常生活に密着した生活道路は、防災性の向上や快適な居住環境の形成の観点からも重要性が増しており、整備に当たっては、歩行者や自転車など、だれもが安全で快適に利用できる道路空間づくりを進めることが必要である。

今後とも、本市の総合振興計画である「さいたま希望(ゆめ)のまちプラン」における、「さいたま市らしさを生み出す都市づくり」の実現へ向け、都市の骨格形成、円滑な都市活動のための基幹的な都市基盤となる道路整備を、人と環境に配慮しつつ重点的かつ計画的に進める。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

埼玉県さいたま市

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	・ 新大宮上尾道路	・ 社会経済活動の向上 ・ 地域の活性化 ・ 環境負荷の軽減	
・都市交通の快適性、利便性の向上	・ 新大宮上尾道路 ・ 国道17号上尾道路、与野大宮道路 ・ 連続立体交差事業等の踏切対策 ・ 幹線道路ネットワークの形成	・ 都市と地域の交流強化 ・ 交通渋滞の緩和 ・ 環境負荷の軽減 ・ 沿道環境改善	
・大規模な地震、災害に強い国土づくり等	・ 幹線道路ネットワークの形成 ・ 都市計画道路の整備推進 ・ 橋りょうの耐震補強 ・ 無電柱化	・ 緊急輸送道路の確保 ・ 災害路、緊急避難路の確保 ・ 延焼遮断機能の充実	
・総合的な交通安全対策及び危機管理の強化	・ 歩道整備、交差点改良	・ 交通渋滞の緩和 ・ 交通事故の減少	
・少子、高齢社会に対応した子育て環境、バリアフリー社会の形成	・ 交通バリアフリーの推進	・ 高齢者等の移動の円滑化	
・良好な生活空間、自然環境の形成	・ 無電柱化 ・ 生活道路の整備推進	・ 快適な歩行者空間の確保 ・ 良好な道路景観の形成	
・計画的、効率的な維持管理や更新の推進	・ 道路施設維持管理計画	・ 道路施設の長寿命化 ・ 事業費の平準化 ・ 計画的かつ効率的な事業推進	